



鹿兒島のいろいろな建物や施設、
あるいは人の心の中にあるバリアを取りはられています。
一人ひとりが、より快適で自由な暮らしが営めるように。

KAGOSHIMA

バリアフリー最前線

Barrier Free-Saizensen



より多くの人がより快適に利用できる医療機関を目指す鹿児島市立病院

緑と光あふれる
地域医療の拠点

鹿児島市立病院

(鹿児島市)

- 許可病床数574床
(一般568床、感染症6床)
- 駐車場650台

住所 鹿児島市上荒田37-1
 TEL 099-230-7000
 FAX 099-230-7070
<http://www.kch.kagoshima.jp>



手話通訳や点字案内にも対応



広々とした多目的トイレ



病院スタッフ用とは別のため、利用がとってスムーズな利用者専用エレベーター



「あふれる緑と光」を具現化した中庭

●平成27年5月に上荒田町に移転した鹿児島市立病院。敷地面積は従来の約2.8倍、延べ面積は約1.3倍、駐車台数は約3倍に拡充しました。バリアフリーへの対応はもちろん、あらゆる人が快適に利用することが可能な先進のユニバーサルデザインを導入。車の出入り口は「電車通り」と「みずほ通り」からの2ヶ所あり、身障者用の駐車スペースは17台。送迎車は正面玄関前の屋根付きの車寄せを利用でき、雨風が強い日も安心。電車やバスによる通院も便利です。

アへの移動もスムーズ。自然採光を多く取り入れた院内の各エリアには授乳室や多目的トイレを設け、ホスピタリティと評判の広い廊下とゆつたりとした待合室も特徴のひとつ。坪内博仁病院長は、移転の挨拶の中で「市民・県民の皆様の医療ニーズにお応えし、信頼される地域医療の拠点を目指して、鹿児島島の医療の未来を拓いてまいります」と決意を述べています。病棟の西側には緑の散策路があり、南側には緑地が隣接。利便性の良い立地と豊かな自然環境に恵まれた鹿児島市立病院。来院者はもとより、地域住民の皆に親しまれる病院としての役割が期待されています。

